

フランス人落語パフォーマー

尻流複写二 (シジル・コピーニ)



*Photos by Anticsvision @ ジャパン・トゥール・フェスティバルー2019年2月*

## 尻流複写二（シジル・コピーニ）プロフィール

1973年に南仏のニースで生まれた尻流複写二は、高校時代に日本語の勉強を始め、1997年9月に来日（福岡）し、フランス政府公式機関である「九州日仏学館」に勤務。2001年に上京し、現在、在日フランス大使館内アンスティチュ・フランセ日本に所属。2010年大阪の落語家・林家染太との出会いをきっかけに本格的に落語を教わる。2011年に開催された「落語国際大会イン千葉」に出場し3位を獲得。外国語で落語を演じる三遊亭竜楽のフランス公演のコーディネーターや通訳で同行し、落語の海外普及にも積極的である。2014年7月、世界最大演劇祭『アヴィニョン・フェスティバル』で三遊亭竜楽と林家染太と口演を開催。2015年10月は日本国内「フランス人による落語会」、同年12月はスイス・フランスのツアーを実現。2015年より、明治大学中野キャンパスや国内のNHK文化センターで「RAKUGOを世界へ」という実演&講演会シリーズも行う。また、落語をテーマにした漫画『どうらく息子』（小学館刊）のフランス語版を担当。2016年より、浅草東洋館にてレギュラー出演中。

---

« Cyril Coppini emmène son public dans la fantaisie de son récit » - *Le Dauphine Libéré*, 2019（シジル・コピーニはお客様をとりこにする）- フランスの新聞「ル・ドフィネ・リベレ」2019年

「日本人会別館での高座はほぼ満席。枝雀が好きというシジルさんは愛嬌たっぷり、会場を大いに湧かせてくれた。」タイ国日本語フリーペーパー「ダコ」2018年

「正座コメディ」に魅せられた仏人落語パフォーマー／朝日新聞「ひと」2015年

「文化の懸け橋 大入り御礼」／信濃毎日新聞2015年

« Rakugo that could only be performed by a Frenchman » - ヒラガナタイムズ2015年

「上方落語「ちろとてちん」で、登場人物をフランスかぶれの気取り屋にするなど、工夫を凝らす」毎日新聞（大阪版）2015年

« Passionnant »（興味深い）- フランス雑誌「Télérama」（テレラマ）2014年（漫画「どうらく息子」について）

「マクラもオチもトレビアン！」／東京新聞2013年

「異文化交流に一役」／サンケイ新聞2013年

## 2019年

10月4日ー6日ー マルセイユ「秋祭り」

8月16日ー18日ーモントリオール「オタクソン」フェス

6月2日ー6日ー ベルフォール市 (独演会&学校寄席)

4月26日ー5月5日ー カナダ (ケベック市、モントリオール)

2月21日ー3月10日ー フランスツアー (パリ、トゥール、ニオール、レンヌ、サンマロ、ニース、アヌシー) + ジュネーブ

1月24日ー29日ー タイツアー (バンコク、チェンマイ) \* 日本語口演

## 2018年

9月ー フランス (エクス=アン=プロバンス、パリ)

3月ー フランスツアー (パリ、トゥール、レンヌ、カンカル、レンヌ、ニース、エクス=アン=プロバンス) + ジュネーブ、ブリュッセル

2月ー タイツアー (バンコク、チェンマイ、チェンライ) \* 日本語口演

## 2017年

2月/3月ー フランス&スイスツアー (トゥール、ジュネーブ、ローザンヌ、シオン、ニース)

2月ー タイ初口演 (チェンマイ) \* 日本語口演

## 2016年

9月ー ティオフェスティバル (ニューカレドニア) &ヌメア本フェスティバル

4月ー ジャパンフェス in オークランド (ニュージーランド) \* 英語口演

3月ー 浅草東洋館初高座

2月ー ジャパン・トゥール・フェスティバル初出演

2015年ー 「神楽坂まち舞台」初出演

2014年ー 世界最大演劇祭「アヴィニヨン・フェスティバル」に出演

2011年よりー 日本国内で活動開始 (大学、市民会館、寄席、NHK文化センターetc…)

オフィシャルサイト Cyril Coppini Office – <http://cyco-o.com>

